

02 卒業要件

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

① 4年以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年で卒業することができません。

② 学科で定められた卒業要件単位124単位を修得

カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

1 卒業要件単位数

総合教育科目	教養教育科目	学際領域	2単位 (「国際学概論」は必修)	24単位以上	学士 (国際学)	
		人文科学				
		社会科学				
		自然科学				
		日本文化				4単位 (留学生に限る)
		人間教育				
		身体科学				
	英語	2か国語以上 12単位以上				
	中国語					
	ドイツ語					
フランス語						
朝鮮語						
日本語	8単位 (留学生に限る)					
専門教育科目	国際学部 共通科目	国際理解	70単位以上 (自由科目 8単位を含む)	124単位		
		言語文化				
		現代の社会と文化				
		人間の心理				
	専門演習 科目	英語分野	専門演習科目と研究科目の同一分野 から22単位以上選択必修			
		日本語分野				
		中国語分野				
		国際・地域研究分野				
	研究科目	英語分野	8単位以上 (「ゼミナール3」「ゼミナール4」は必修)			
		日本語分野				
		中国語分野				
		国際・地域研究分野				
卒業プロジェクト		6単位以上				
実践教育科目						
4年以上在学						

04 卒業に向けて

① 卒業について

卒業するには、4年以上在学し、定められた卒業要件単位124単位(必修科目を含む 36ページに記載)を修得しなければなりません。

その際、以下②で説明する「ゼミナール3」「ゼミナール4」を修得できなければ4年間で卒業できないことに特に注意してください。

なおセメスターはたとえ休学した場合でも4年次までは上がります。

② 「ゼミナール3」、「ゼミナール4」履修資格

「ゼミナール3」、「ゼミナール4」とは、7、8セメスターにわたって国際学部国際学科における学習の総仕上げをする科目です。

原則、同一指導教員で履修しなければなりません。

また、「ゼミナール3」、「ゼミナール4」には、以下の履修資格があります。

「ゼミナール3」の履修資格

- ① 6セメスターを修了していること。
- ② 前年度修了時点において、卒業要件単位数の修得単位数が86単位以上でなければならない。

「ゼミナール4」の履修資格

- ① 「ゼミナール3」を修得していること。
- ② 「ゼミナール3」と同一教員の「ゼミナール4」を履修しなければならない。

卒業要件確認チェックページ

留学生以外の学生向け 確認表

【記入方法】 それぞれの科目分野で確認項目を確認しながら、修得単位数を記入する。
成績発表のたびに書き変えること。

【用意するもの】 成績表、ハンドブック

科目分野	卒業要件	確認項目		修得単位数
a. 教養教育科目	2単位	必修科目2単位(「国際学概論」)を修得しているか?		()単位
b. 言語文化科目	12単位以上	2か国語以上の言語を選択し、合わせて12単位以上を修得しているか? (Ⅰ) _____ 語 ()単位 (Ⅱ) _____ 語 ()単位		()単位
a+bの要件単位数は14単位です。 総合教育科目の卒業要件24単位に不足する10単位をa、bから補い修得しているか?				()単位
①総合教育科目 (小計) 24単位以上				()単位
c. 国際学部 共通科目	—			()単位
d. 専門演習科目 ・ 研究科目	22単位以上	専門演習科目と研究科目の同一分野から22単位以上を修得しているか?	専門演習 ・英語分野 ()単位 ・日本語分野 ()単位 ・中国語分野 ()単位 ・国際・地域研究分野 ()単位 研究科目 ・英語分野 ()単位 ・日本語分野 ()単位 ・中国語分野 ()単位 ・国際・地域研究分野 ()単位	()単位
e. 卒業 プロジェクト	8単位以上	必修科目8単位(「ゼミナール3」、「ゼミナール4」)を修得しているか?		()単位
f. 自由科目	※ 0~8単位	※8単位までは卒業要件単位に算入されますが、必ずしもその要件を満たす必要はありません。(卒業までに30単位まで履修することができます。39ページ参照)		()単位
c+d+e+fの要件単位数は30単位です。 専門教育科目の卒業要件70単位に不足する40単位をc、d、e、fから補い修得しているか?				()単位
②専門教育科目 (小計) 70単位以上				()単位
③実践教育科目 (小計) 6単位以上				()単位
①+②+③の要件単位数は100単位です。 卒業要件124単位に不足する24単位を ①、②、③から補い修得しているか?				()単位
卒業要件単位数 (合計) 124単位				()単位

2 専門教育科目

単位数を「○」でかこんだものは必修科目(卒業までに必ず単位を修得しなければならない科目)

区 分			科 目	単 位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考
						1年次		2年次		3年次		4年次		
						1ㄱ (前)	2ㄱ (後)	3ㄱ (前)	4ㄱ (後)	5ㄱ (前)	6ㄱ (後)	7ㄱ (前)	8ㄱ (後)	
専 門 教 育 科 目	国 際 学 部 共 通 科 目	国際理解	時 事 問 題	2	必修8・選択必修22・選択40以上・70以上		2							留学生向け科目 留学生向け科目
			国 際 関 係 論	2					2					
			国 際 政 治 史	2						2				
		言語文化	言 語 学 概 論	2				2						
			社 会 言 語 学	2					2					
			言 語 教 育 学	2						2				
			第 二 言 語 習 得 論	2						2				
			文 章 表 現 論	2						2				
			日 本 語 総 合 1	2						2				
			日 本 語 総 合 2	2							2			
			異 文 化 理 解	2			2							
			現 代 の 思 想	2							2			
	大 衆 文 化 論 1	2				2								
	大 衆 文 化 論 2	2					2							
	人間の心理	サ ブ カ ル チャ ー 論	2						2					
		メ デ ィ ア 論	2				2							
		社 会 変 動 論	2				2							
		社 会 福 祉 論	2						2					
		ジ ェ ン ダ ー 論	2						2					
		基 礎 法 学	2					2						
		観 光 論	2							2				
		学 習 心 理 学	2				2							
		認 知 心 理 学	2							2				
		対 人 援 助 論	2					2						
		カ ウ ン セ リ ン グ 概 論	2					2						

必修8・選択必修22・選択40以上・70以上

3 実践教育科目

単位数を「○」でかこんだものは必修科目(卒業までに必ず単位を修得しなければならない科目)

区 分	科 目	単 位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1ㄗ (前)	2ㄗ (後)	3ㄗ (前)	4ㄗ (後)	5ㄗ (前)	6ㄗ (後)	7ㄗ (前)	8ㄗ (後)		
実 践 教 育 科 目	入 門 演 習 1	1	6 以 上	2									全員履修
	入 門 演 習 2	1			2								全員履修
	リサーチ・リテラシ演習1	1				2							全員履修
	リサーチ・リテラシ演習2	1					2						全員履修
	ワ ー ク シ ョ ッ プ	2		4									全員履修 オムニバス
	コンピュータ・リテラシ	2		2									全員履修
	海外フィールド演習 1	4			8								集中
	海外フィールド演習 2	4				8							集中
	プロジェクト演習 1	2				2							
	プロジェクト演習 2	2					2						
	キャリアデザイン1	2			2								
	キャリアデザイン2	2				2							
	インターンシップ	2					2						
	小 計	26		6以上	8	12	14	6	0	0	0	0	
総合教育科目、専門教育科目、実践教育科目 合 計			362	124	62	80	102	86	46	44	12	4	

※備考欄中の「全員履修」は必ず履修をしなければならない科目であることを示します。

※備考欄中の「集中」は集中講義科目であることを示します。

▶日本語教員養成プログラム

主専攻：46単位以上(必修28単位含む)、副専攻：26単位以上(必修20単位含む)で学長名の修了証書を授与する。

単位数を○でかこんだ科目は養成プログラムの必修科目

区分	科 目	(主)単位数	単位 数	最低 修得	(副)単位数	単位 数	最低 修得	週 時 間 数								備 考
								1年次		2年次		3年次		4年次		
								1ㄱ (前)	2ㄱ (後)	3ㄱ (前)	4ㄱ (後)	5ㄱ (前)	6ㄱ (後)	7ㄱ (前)	8ㄱ (後)	
社会・文化・地域	日 本 文 化 論	②	14以上	46以上	2	8以上	26以上	2								
	日 本 文 学 史	2			2			2								
	異 文 化 理 解	②			②			2								
	国 際 協 力 論	2			2				2							
	国 際 関 係 論	2			2					2						
	国 際 人 権 論	2			2						2					
	現 代 ア ジ ア 論	2			2				2							
	現 代 ヨ ー ロ ッ パ 論	2			2				2							
	比 較 文 化 論	2			2					2						
	大 衆 文 化 論 1	2			2				2							
	大 衆 文 化 論 2	2			2					2						
	メ デ ィ ア 論	2			2				2							
	日 本 文 学 論 1	2			2				2							
	日 本 文 学 論 2	2			2					2						
	言語と社会	日 本 近 現 代 史			2			2		2			2			
ア ジ ア 近 現 代 史		2	2			2										
ヨ ー ロ ッ パ 近 現 代 史		2	2				2									
社 会 言 語 学		②	②			2										
日 本 語 支 援 論		②	②				2									
文 化 人 類 学		2	2	2												
言語と心理	生 涯 学 習 論	2	2		2			2								
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 1	2	2		2			2								
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 2	2	2			2										
	教 育 原 理	2	2	2		2								※1		
	第 二 言 語 習 得 論	②	②				2									
	心 理 学	2	2	2		2										
言語と教育	学 習 心 理 学	2	2		2			2								
	応 用 心 理 学	2	2			2										
	認 知 心 理 学	2	2						2							
	人 間 関 係 論	2	2							2						
	教 育 心 理 学	2	2	2		2								※1		
	日 本 語 教 育 学 概 論	②	②		②		2									
言語と教育	日 本 語 教 育 法 1	②	②		②			2								
	日 本 語 教 育 法 2	②	②			2										
	日 本 語 教 育 実 践 1	2	2	2						2				※2		
	日 本 語 教 育 実 践 2	2	2	2	②						2			※2		
	人 権 教 育	2	2			2										
	言 語 教 育 学	2	2				2									
言語と一般	日 本 語 教 育 評 価 法	②	2		2					2						
	言 語 学 概 論	②	2		2			2								
	日 本 語 学 概 論 1	②	②			2										
	日 本 語 学 概 論 2	②	②				2									
	日 本 語 教 育 文 法	②	2		2				2							
合 計		86	46以上	86	26以上	8	8	26	20	12	10	2	0			

注)1 「日本語教育法1・日本語教育法2・日本語学概論1・日本語学概論2」については、1を履修してから2を履修するのが望ましい。

注)2 ※1印の「教育原理」「教育心理学」を履修する場合、Potal-OSUの教務システム(履修・シラバス)より「教職申請」を行い履修申請を行うこと。

(教員免許の取得を考えていない方は、履修登録後「教職申請」の解除を行うこと。)

注)3 ※2印の「日本語教育実践1」「日本語教育実践2」は、いずれかの科目を必修とする。これらの科目については、教員との相談(成績などの確認)のうえで履修すること。